



# ŌMIYA NEWS



No.68 2025年10月29日 JR東労組大宮地本

## 本人希望無視！？労働協約軽視！ 家庭状況への配慮なし？本人に寄り添 わない冷酷な異動は認められない！

浦和統括センター南オフィスにおいて、本人の家庭状況等を詳細に管理者に伝えていたにも関わらず、その状況は無視し、さらに異動時期がその状況に反する中、希望していない職種への異動が強行されようとしています。しかもあろうことか、ユニットリーダーは、本人が質問をしている最中に一方的に発令通知を読み上げるという暴挙に打って出ました。

### この非人道的対応を許さず、是正のために声を上げよう！

#### 【本部－本社間の労使議論】

**組合** 異動や担務変更にあたっては、生活設計や家庭状況、年齢等を十分に考慮し、本人希望に最大限近づけモチベーションが低下しないように運用すること

**会社** キャリアについては自分で考えてみて、**管理者が寄り添って話を聞く。**管理者や現場長が社員と面談やコミュニケーション、対話を積み重ね、コンセンサス(合意形成)をとっていく。

#### ↓さいたま運転区分会情報「ありんこ」



**家庭状況に配慮なし？怒  
結局異動ありき！？**  
こんなジョブローテーションは  
絶対認められない！！

- 問題点① 異動時期について
    - 9月12日 異動の話がされ、家族状況の確認の際、家の事でやる事が多くあり、気持ち的にも厳しいと伝える
    - 9月16日 伝えたりなかった事があったため、電話で異動に支障があると伝える
    - 9月19日 面談を行い、家族状況、生活状況を再度詳しく説明をするも「最大の課題はいつかかかっている部分として家庭状況や生活状況は伝えただけだな。」  
↓(この間、「支社には伝えてある」ということのみで丁寧な説明もない)
    - 10月17日 面談で希望の確認もされていない状況で異動場所、時期を一方的に伝えられる
    - 10月19日 面談中、丁寧な説明を求めるが、一方的に発令通知を読み上げられる。「私のキャリアプランはこれまで一度して『運転士』を希望。しかし、家族状況、生活設計があり、異動時期は『今は無理です』とハッキリ伝えてきた。」
  - 問題点② 異動ありきの面談について
    - 本人が書いたキャリアプランはこれを度として『運転士』を希望
    - しかし、家族状況、生活設計があり、異動時期は『今は無理です』とハッキリ伝えてきた。
    - 10月17日、本人の希望の確認もされないのに、突如「大宮駅営業」、「異動時期は11月上旬」との意図付けが行われる。
    - 10月19日、希望が叶わない理由などの丁寧な説明もなく、「総合的に勘案して進めていくの上、本人の納得感のないまま発令通知が渡される。
- 確認事項違反！会社は労働協約を遵守せよ！！**

#### 【地本－支社間の労使議論】2020年6月 (大地申第18号団体交渉)

育児・介護等の事情だけに留まらず、そのほか個別事情についても面談や本人申告等により把握を行い取り扱うこと。

**組合** 細かく相談にのってもらいたい。働き手のやりがいを作ることは効率性にも会社の発展にもつながる。最初は現場管理者、現場長なり丁寧に聞くことを支社として指導してほしい。また育児や介護などの個々の状況によっては10年を超えることも判断すべき

**会社** 個々の状況は把握する。面談で細かく伝えてほしい。配慮はしていく。ケースバイケースで判断する。

#### 【団体交渉の主な確認事項】2020年6月 (大地申第18号団体交渉)

施策の趣旨である社員の夢や希望に近づけられるよう日々のコミュニケーションを図り丁寧な面談を行える体制を作る考えである。

家庭状況に配慮せず、キャリアプランも把握しない、社員に寄り添わない  
ユニットリーダーはいらない！ 社員の立場に立ち、業務を遂行せよ！

会社は労働協約を遵守し、労使の確認事項を正しく履行せよ！